

令和4年度 第4回 谷浜・桑取区地域協議会

次 第

日時：令和4年8月4日（木）午後6時30分～

会場：谷浜・桑取地区公民館 2階 大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【報告事項】

- ・日帰り・宿泊温泉施設の今後の方向性の検討について

【協議事項】

- ・「地域活性化の方向性」の作成について

4 その他

次回地域協議会 月 日（ ）午後6時30分から

5 閉 会

日帰り・宿泊温浴施設の今後の方向性の検討について

1 公の施設の適正配置の必要性

＜第4次公の施設の適正配置計画で整理した市を取り巻く現状と課題＞

- ・ 人口減少と少子高齢化、それに伴う税収の減少が懸念される。
- ・ 多くの施設の老朽化に伴う維持管理経費と更新・修繕費用の増加が見込まれる。
- ・ 合併前の各市町村で進めた施設整備により多くの類似施設を保有している。

将来予測される人口減少や市の財政状況等を踏まえ、今後、施設の老朽化が進行し、多くの施設を現状のまま維持していくことは困難な状況。

令和2年度～41年度の40年間で建替えや大規模改修に係る費用の試算値は約4,500億円※（1年当たり約112億円）

※ 総務省提供の「公共施設等更新費用積算ソフト」を用いて試算したもの



将来にわたる持続可能な行財政運営の確立と次の世代に対し過度の負担を負わせることがないように、施設の実態を踏まえ施設の適正配置が必要。

2 日帰り・宿泊温浴施設の現状

- ・ 全ての温浴施設において利用者数が減少している中、コロナ禍により更に減少。
- ・ 全ての温浴施設が建設後20年以上経過しており、老朽化により今後、施設の改修、修繕費等の増加が見込まれる。
- ・ 温浴施設は他の施設と比較し公費負担額が大きく、利用者一人当たりの公費負担額は増加傾向にある。
- ・ 設置当時より民間の温浴施設も増え、公の関与の必要性が低下している。

【参考】 コロナ禍前後における利用者数等のデータ比較

施設名：くわどり湯ったり村

項目	年度	H30	R3（見込み）	
			対H30増減	対H30比
利用者数（人）		48,744	29,379	△19,365 60.3%
利用料収入等（千円）		76,210	28,200	△48,010 37.0%
公費投入額（千円）		41,276	40,294	△982 97.6%
利用者1人当たり の公費負担額（円）		847	1,372	525 162.0%

3 今後の方向性

○ 民間需要調査の実施

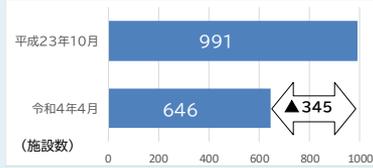
- ・ 令和4年度は、各施設について、民間需要調査を実施することとしている。その内容は、民間活力を活用し、利用促進を図るとともに、地域外の人々が訪れ、地域に利益を生み出すような施設への転換に向けたアイデアを募るもの。
- ・ 現在の機能を生かした利活用の調査を前提としつつ、あわせて他用途への転用による利活用も含めた幅広い可能性についても調査する。

○ 調査結果を踏まえ、施設の今後の利活用の方向性について地域等と協議を重ね、現指定期間が終了する令和6年度末までに施設の方向性を決定する。

第4次公の施設の適正配置計画における「引き続き協議」とした日帰り・宿泊温浴施設について

1 適正配置の取組状況

平成17年1月の市町村合併後、利用者数の減少や老朽化が著しい体育施設、利用実態を踏まえた公民館分館の廃止など適正配置を進めてきた。その結果、平成23年10月時点で991施設あった公の施設は、令和4年4月1日現在で646施設となっている。



2 公の施設を取り巻く現状と課題

(1) 人口減少

平成17年1月の合併当時約21万人であった人口は、令和4年4月1日時点で約18.6万人と減少が続いており、令和27年には、約14万人まで減少する見込み。また、生産年齢人口の減少により、今後、税収の減少が懸念される。



(2) 公の施設の老朽化等

築30年以上を経過した施設の面積は、令和6年に7割を超える見込みであり、今後、老朽化に伴う改修や更新に係る投資的経費の増加が見込まれる。合併前の各市町村で進めた施設整備により、多くの類似施設を保有している。(温浴施設、体育館など)

(3) コロナ禍による収支悪化

コロナ禍の影響により、日帰り・宿泊温浴施設、水族博物館等において、利用料金収入等が著しく減少しており、減収分について公費を約6.8億円投入している。(令和2年3月～令和4年3月)

3 適正配置計画の概要

(1) 基本方針(取組の必要性)

将来にわたる持続可能な行財政運営の確立と、現役世代はもとより次の世代が過度の負担を負うことなく、安心して暮らすことができるまちづくりに向けて、適正配置の推進に取り組む。

(2) 適正配置推進の視点

- 施設の実態を踏まえた施設の量と質の最適化
 - 利用実態や老朽度、収支状況等に着目し、人口や財政規模にあった建物と機能の量と質を確保。
- 公共関与の適正化及び効果的・効率的な利活用に資する管理主体・手法の見直し
 - 民間と競合している施設など、公的関与の低い施設の見直し(民間譲渡・貸付けなど)
- 利用圏域の設定による配置バランスの適正化
 - 類似施設毎に、各施設や施設カテゴリーに応じた利用圏域を設定し、施設の集約や連携等により必要な機能を確保。

(3) 取組内容

施設毎の具体的な取組方向を提示する対象施設322施設

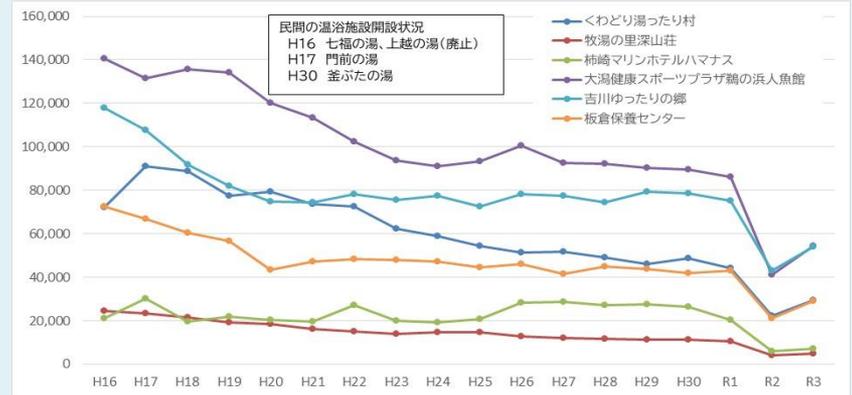
(小・中学校、保育園等344施設は、別の計画による)

- 現状維持 255施設
- 移転 1施設(地区公民館)
- 新設 0施設
- 廃止等 58施設
- 引き続き協議 8施設(日帰り・宿泊温浴施設)

※ 三和ネイチャリングホテル米本陣は、民間事業者への譲渡について協議中

4 「引き続き協議」とした日帰り・宿泊温浴施設の現状

(1) 利用者数の推移



(2) 施設の経過年数及び耐用年数

- 全ての温浴施設が、建設後20年以上経過。今後、10年間で3施設が耐用年数を迎える。
- 施設の老朽化により今後、修繕費の増加が見込まれる。(別紙 施設データ参照)

(3) 利用者一人当たりの公費負担額

- コロナ禍による利用者の減少により、令和3年度の利用者1人当たりの公費負担額は、吉川ゆったりの郷を除く5施設が、1,000円を超えている。(令和4年4月1日現在)

No.	施設名	建物の情報			利用者一人当たりの公費負担額(円)				
		建築年	経過年数	耐用年数	R3	R3(見込み)			
						経過年数	H30	対H30増減	対H30比
1	くわどり湯ったり村	H11	23	47	R28	847	1,372	525	162.0%
2	牧場の里深山荘	S61	36	47	R15	1,992	4,353	2,361	218.5%
3	柿崎マリンホテルハマナス	H7	27	47	R24	328	3,457	3,129	1054.0%
4	大湯健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館	H9	25	31	R10	479	1,054	575	220.0%
5	吉川ゆったりの郷	H9	24	31	R10	115	354	239	307.8%
6	板倉保養センター	H7	26	34	R11	199	1,105	906	555.3%

(4) 主な施設種別ごとの維持管理に係る公費負担額

- 温浴施設は、他の施設と比較すると公費負担が大きいです。

種別	年間公費負担額					
	H30			R2		
	施設数	金額	1施設当たり	施設数	金額	1施設当たり
日帰り・宿泊温浴施設	13	3億6,400万円	2,800万円	12	4億4,600万円	3,720万円
体育館	20	1億4,600万円	730万円	20	2億3,100万円	1,160万円
貸館・交流施設	18	1億1,900万円	660万円	19	1億5,100万円	800万円
公民館	48	9,000万円	190万円	45	1億300万円	230万円
集会所	22	680万円	31万円	20	580万円	29万円

<参考> コロナ禍に伴う減収補填等による公費負担額の増加

- 令和元年度～令和3年度の補填額等により約1.1億円の公費負担額の増加が見込まれる。

No.	施設名	減収分の補填等(千円)			計
		R1	R2	R3(見込み)	
1	くわどり湯ったり村	1,262	0	0	1,262
2	牧場の里深山荘	0	0	0	0
3	柿崎マリンホテルハマナス	2,545	7,691	21,363	31,599
4	大湯健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館	3,348	6,301	4,385	14,034
5	吉川ゆったりの郷	4,521	23,218	15,874	43,613
6	板倉保養センター	0	10,291	12,084	22,375
計		11,676	47,501	53,706	112,883

1 施設名 くわどり湯ったり村

2 施設の設置目的

西部中山間地域(以下「地域」という。)の豊かな自然と文化に触れる憩いの場を提供するとともに、地域の活性化に資するため、リフレッシュビレッジ施設を設置する。

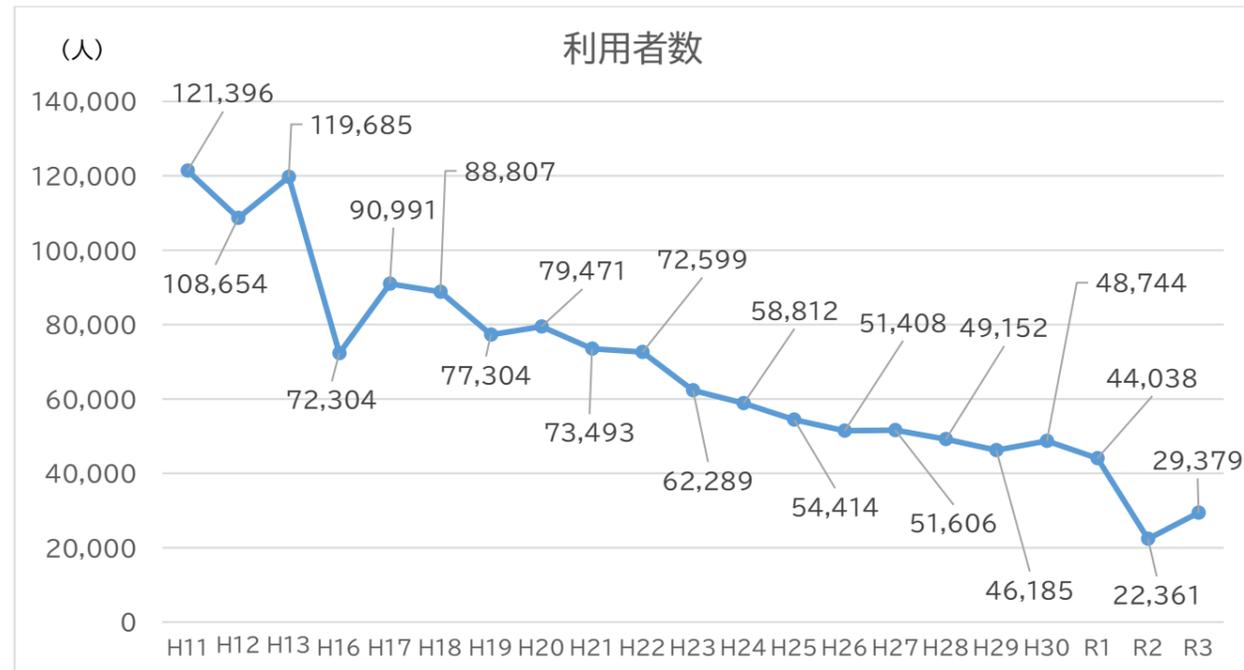
3 施設の概要

所在地	上越市大字皆口601番地
主な機能	宿泊、日帰り温浴、食堂、宴会(令和4年3月末現在)
構造	鉄筋コンクリート造
設置	平成11年4月
耐用年数経過年度	令和28年度
延床面積	2,523.67㎡(敷地面積27,027.60㎡)
補助事業名	農業農村活性化農業構造改善事業(需要創造型)
敷地	市有地
管理形態	指定管理(指定管理者:リフレ上越山里振興株式会社)

4 利用者数の推移等(直近5年間)

【単位:人】

施設機能	H29	H30	R1	R2	R3(見込み)		
					対H30増減	対H30比	
宿泊	2,954	3,165	2,661	1,070	1,893	△ 1,272	59.8%
宴会	2,680	3,198	2,765	603	658	△ 2,540	20.6%
日帰り温浴	25,527	27,203	25,238	12,742	16,674	△ 10,529	61.3%
食堂	15,024	15,178	13,374	7,946	10,154	△ 5,024	66.9%
計	46,185	48,744	44,038	22,361	29,379	△ 19,365	60.3%



5 施設の収支状況

(1) 指定管理者の収支状況(直近5年間)

【単位:千円、税抜き】

区分	H29	H30	R1	R2	R3(見込み)	計	
収入(A)	利用料金収入	76,978	76,210	67,906	30,993	28,200	280,287
	指定管理料	32,946	32,946	32,089	31,800	31,800	161,581
	その他	382	4,536	3,595	18,272	36,153	62,938
	合計	110,306	113,692	103,590	81,065	96,153	504,806
支出(B)	99,101	109,014	97,992	76,025	89,505	471,637	
差引(A-B)	11,205	4,678	5,598	5,040	6,648	33,169	

(2) 市の収支状況【公費負担額】(直近5年間)

【単位:千円】

区分	H29	H30	R1	R2	R3(見込み)	計	
収入(A)	0	0	0	0	0	0	
支出(B)	指定管理料	35,569	35,569	34,980	34,980	34,980	176,078
	指定管理料増額分	0	0	0	0	0	0
	修繕料	2,468	3,346	2,046	2,235	3,147	13,242
	その他委託料	2,032	2,239	2,149	1,187	1,100	8,707
	補填金	0	0	1,262	0	0	1,262
	その他	701	122	185	8,700	1,067	10,775
	計	40,770	41,276	40,622	47,102	40,294	210,064
公費負担額(B-A)	40,770	41,276	40,622	47,102	40,294	210,064	
利用者1人当たりの公費負担額(円)	883	847	922	2,106	1,372		

6 修繕実績及び今後の修繕見込み

(1) 修繕実績のうち主なもの

【単位:千円】

年度	修繕履歴	
	修繕内容	金額(税込)
H12年度	休憩室増築(154.91㎡)	51,859
H25年度	合併浄化槽取替	1,250
H26年度	女子脱衣室エアコン交換修繕	1,271
H27年度	女子脱衣室エアコン交換修繕	1,272
	ハンドホール水抜配管修繕	1,242
	露天風呂改修工事	6,314
	深井戸揚湯機入替工事	4,104
H28年度	男子脱衣室エアコン交換修繕	1,242
	予備揚湯機	3,024
H30年度	施設道路舗装修繕	1,296
計		72,874

(2) 今後に修繕が見込まれる主なもの(概算)

【単位:千円】

項目	金額	項目	金額
○躯体(屋根・壁)	61,875	○空調設備	52,000
・屋根修繕	61,875	・ファンコイル交換	25,000
○受変電設備	0	・ロビーファンコイル交換	10,000
○給水設備	30,676	・広間エアコン更新	3,000
・揚湯機入替(R7)	8,338	・冷温水設備更新	14,000
・揚湯機入替(R12)	8,338	○その他	24,000
・温泉ろ過機入替	9,000	・ボイラー更新	24,000
・温泉設備更新	5,000		
計		計	168,551

地域活性化の方向性の検討について

1 第3回地域協議会で出された意見

項目	地域の魅力、次世代へ残したいもの等	意見	提案
歴史・文化	「たにはま・くわどりの里」 (谷浜地域づくり協議会ガイドマップ)の 掲載箇所	掲載箇所はどれも地域の歴史・文化につながっている。	ガイドマップを活用し、歴史・文化を紐解く。
	阿比多神社 (学問の神：菅原道真公が祀られている)	学問の神様が祀られていることが知られていない。	地域内外に伝え、地域の知名度を上げる。
	城ヶ峰砦跡	活動継続にあたり、若い世代への継承が大事である。	
	里神楽	地域の魅力として今後も活かしていかななくてはならない。	
	小正月行事		
	お盆の行事	少子化で町内だけでの継続が難しくなっている。	地域の魅力を伝え、外部からの人を呼び込むための行事の復活させたい。
	加賀街道 (茶屋ヶ原・鍋ヶ浦・吉浦)	ガイドマップの効果か来訪者が増えている。	加賀街道(吉浦～茶屋ヶ原)を散策し、乳母嶽神社を参拝するコースを推奨する。 来訪者を受け入れる町内会側の対応も大切である。
自然	季節感あふれる豊かな自然	山・川・海・温泉とそれぞれの自然を活かしたものがたくさんある。	トライアスロン大会の開催(海で泳ぎ、自転車で山を登り、温泉で汗を流す)し、来訪者を増やす。
		桑取川では春は鮎、ニジマス、ヤマメ、秋はハゼが釣れる。 海では海釣りもできる。	釣りの名所として知名度を上げる。
		自然が多い地域である。	山菜や鮎、鮭を加工して谷浜・桑取区だけの特産品を考えていく。 山道を活用しサイクリングコースを整備してはどうか。
	用水の水生物の復活	耕作放棄地が増えているため、見られなくなったドジョウ、メダカ、タナゴ、蛍を復活させたい。	用水の整備が必要である。
	小・中学生の野外学習	小・中学生の鮭の野外学習は他の学校では見られないものである。	野外学習を継続してもらいたい。
観光	春夏秋冬の観光資源	春：カタクリの群生(薬師山、城ヶ峰砦、湯ったり村)	
		夏：谷浜海水浴場、山、海、蛍	山や海をキャンプ場として活用できないか。 蛍の情報を流し、他区から人を呼び込めないか。
		秋：山間の紅葉	
		冬：雪景色	スキーの初級者コースを開設できないか。
	景観	米山からの朝日、能登半島に沈む夕日	

項目	地域の魅力、次世代へ残したいもの等	意見	提案
観光	たにはま公園	ドッグラン、遊具と思い切り走り回れる広場が魅力だが少し寂しい。	花壇を整備し、四季折々の花で飾る。
		利用者に地域を回ってもらうにはどうしたらよいか。	緩い斜面を活用し子どもがスキー遊びできるようにする。
		利用者に地域を回ってもらうにはどうしたらよいか。	公園内で地域のPR活動を行う。
	くわどり湯ったり村	海水浴場から湯ったり村まで人が流れない。	中ノ俣に抜ける道を整備し、回遊性を創出する。
		地域を訪れた人に湯ったり村が利用されていない。	湯ったり村でお風呂に入り、ご飯を食べて戻るといった流れを作る環境があればよい。
		PR方法を検討した方がよいのではないか。	湯ったり村と意見交換をする場がないため、機会があると良い。
	神社めぐり	各町内に神社があるので、訪れた人に神社巡りをして地域を回ってもらう。	御朱印を作り、何個か集めたら湯ったり村の入浴券を進呈する。
久比岐自転車道	利用者に地域を回ってもらうにはどうしたらよいか。	自転車道の途中にガイドマップを設置する	
桑谷観光協会の立ち上げ	谷浜・桑取区全体の観光協会を立ち上げる。	有間川駅、谷浜駅を事務局として使用する。	
その他	地域のつながり	NPO団体との連携を継続し、サロンの活動を続けていきたい。	
		行事（小中合同文化祭での交流会）や輪投げ、ゲートボール、グラウンドゴルフ等での住民同士の交流が大切。	
	義の塩の復活	途切れてしまった義の塩づくりを復活させる。	上杉謙信の逸話と絡めて発信する。
	情報の発信	若い世代はSNSを利用しているため、SNSを活用して谷浜・桑取区の魅力をPRする。	SNSを活用し、地域の魅力を発信する。

2 地域の魅力・次世代に残したいもの等を活かし、どうしていきたいか。（下欄にご記入ください）

【例】

- ・たくさんの人に地域を訪れてもらい、地域の魅力を知ってもらいたい。
- ・自然や文化、地形を活かした活動を行い、地域の魅力を深めたい。
- ・地域内外の人に魅力をPRし、知名度を上げたい。
- ・住民同士の交流を大切にし、行事やサロン、趣味活動を継続していきたい。
- ・地域の魅力が増す取組・イベントを行い、地域内外の人の地域に対する愛着を深めたい。